

令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果
国立大学法人大阪教育大学

1 全体評価

大阪教育大学は、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成を通して、地域と世界の人々の福祉に寄与することを使命としている。第3期中期目標期間においては、教員養成及び教育・学習支援人材養成の広域的拠点として、学長のリーダーシップの下、全学的な改革に取り組み、我が国の教育界を牽引するグローバル教育人材を養成することを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、ネーミングライツを契機とした産学連携として、東京書籍Edu Studio内には「デジタル教科書体験コーナー」が設置され、全学ファカルティ・ディベロップメント（FD）事業「デジタル教科書体験会」を開催するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

（「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、令和2年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- 教職大学院における高度理数系科目群について、カリキュラムの成果と課題を踏まえ、修了要件内の科目とするなど、令和3年度カリキュラムの見直しを行っている。高度理数系教員養成プログラムについては、これまで修了した19名のうち、その7割の14名が修了時点で教員となっており、一定の成果を挙げている。令和2年度は、今までのプログラムの内容に加え、アクティブ・ラーニングを取り入れた「アクティブ・ラーニング・セミナー」を新規に開発し、2月に実施している。また、大学の連携拡充については、昨年10月に神戸大学とオンラインで協議を行い、令和3年度から大学間協定を結ぶことになっている。（ユニット「教員養成機能の強化と特色ある大学作りのための抜本的組織改革」に関する取組）
- 安全教育では、令和3年3月に開催した学校安全推進センターフォーラムにおいて、セーフティプロモーションスクール推進員養成セミナーを開催したほか、同セミナーを12月にも実施し、セーフティプロモーションスクールの普及を通じた安全教育の普及に取り組んでいる。また、3月にe安全教育普及員養成セミナーを開催したほか、岡山県下の6小学校で安全教育教材を利用実践し、合計800名が受講するなど、安全教育教材の社会実装に取り組んでいる。（ユニット「全国レベルの大規模教員養成系単科4大学による連携プロジェクト（HATOプロジェクト）」に関する取組）

2 項目別評価

<評価結果の概況>	特 筆	一定の 注目事項	順 調	おおむね 順調	遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化			○			
(2) 財務内容の改善			○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供			○			
(4) その他業務運営			○			

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載13事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載4事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

令和2年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

○ ネーミングライツによる自己収入増加及び産学連携

ネーミングライツ制度を導入し、柏原キャンパスと天王寺キャンパスの「附属図書館まなびのひろば」のネーミングライツ・パートナーの公募を行い、東京書籍がネーミングライツ・パートナーに決定し、上記施設を「東京書籍Edu Studio」と呼称することになっている。大学としては初のネーミングライツ施設であり、自己収入が得られるだけではなく、ネーミングライツを契機とした産学連携として、東京書籍Edu Studio内には「デ

「デジタル教科書体験コーナー」が設置され、全学FD事業「デジタル教科書体験会」を開催する等、将来教員を目指す学生等にとって非常に有益な取組になっている。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載2事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守等

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載5事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

令和2年度の実績のうち、下記の事項について**注目**される。

○ 地域貢献事業としての授業支援活動の実施

附属平野小学校では、新たな地域貢献事業として地域の公立小学校に特色ある教育を伝え生かしてもらえる機会を提供する取組「JSプロジェクト」を開始している。校内に新たに地域貢献推進委員会を設置し、大阪市教育局から受託した近隣の市立小学校への継続した授業支援活動を実施し、関係者へのインタビュー結果から、本プロジェクトが高評価を得ており、支援対象校からも継続を要望する声が大阪市教育局へ直接寄せられている。